

交通安全 子供やお年寄りを守ろう！

一中地区交通安全協会芥見東支部・服部 美鈴さん
岐阜市では新型コロナウイルス感染症の拡大もほぼ一息つき、学校も制限付きではありますが始まりました。登校時、車で送ってもらう児童がいます。子どもが車から降りるとき、道路の中央側からという光景を見かけることがあります。小学校の裏の道はカーブになっていて見通しも悪く、とても危険です。ぜひ気を付けていただきたいと思います。

大洞緑橋の信号交差点を大洞西側へ渡ろうとした時のことです。青になったので10人位で渡り始めたところ、右折車が接近。止まってくれるかと思いきや、「先に行かせて」のアイコンタクト。信号無視です。



生協の前の横断歩道では多くの車が歩行者を見かけると止まります。ドライバーの義務です。高齢者の多いわが地区、みんなで安全を心がけましょう。 □■

新理事 当たり前にあることに感謝！

一芥見東自治会連合会理事・井上 友紀
この地に住みはじめて15年ほどになります。越してきた頃にあった、美濃町線が廃線になり、藍川高校がなくなり、大洞幼稚園がなくなり、寂しいな〜とっていました。

でも考えてみると、変わらないこと、住みよくなっていることも色々あると感じます。ずっと続く



子どもたちへの見守り、今も蛍の舞う山田川、以前はただの山だったけど今は自然にふれあって散歩のできる里山。そして、今は個人的には利用してないけど(車に乗るので)今後大切な足になるであろうみどりっこバスなどなど…。また、スーパー、病院、東児童センターもそろっている。



身近で、当たり前すぎて、あまり気に止めてなかったけど、地域の方が続けてくれたり、住みよくしようと動いて頂けたおかげでこの環境があるんだろうなと思います。

当たり前の何気ないことが続くことに、感謝です。 □■

支部だより 僕の趣味を紹介します

一コモンヒルズ北山・匿名さん
僕の趣味を紹介させていただきます。それはモータースポーツを観戦することです。モータースポーツとは、車やバイクを使ってレースをすることで、私はその中でも Formula1すなわちF1にはまり、1987年のテレビ放送が開始された時からハマってしまい、今では毎年開催される鈴鹿サーキットまで観戦に出かけるまでになりました。

一人の趣味だけでなく息子も連れ二人で何度か出かけ、日ごろとは違う世界を息子にも見せて一緒に楽しみながら時間を過ごす事が出来ています。

やはり、現地で本物を目の当たりにして観るのはテレビとは大違いで、目に飛び込んでくるスピード感、耳から入る音の迫力、体に感じるマシンから響く空気感全てが同じ人間がドライビングして走らせているとは思えなくなります。



なかなか文章でお伝えするのは難しいです。今は出かけるのも難しく、ましてや他県に出かけるのはさらに難しく、いろいろな施設も少しずつ始まりつつはありますが、まだまだな雰囲気世間に流れていると思います。

今後、心から楽しめる状況になりましたら、一度サーキットまでお出かけしてみたいかと思っています。鈴鹿はサーキットだけでなく遊園地やプールもあり家族で楽しめる空間です。家族の輪を深めていただければこれ幸いです。 □■

環境部会 ごみゼロ啓発運動のお礼

一芥見東自治会連合会環境部会・阿部 昭紀
去る6月7日(日)新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛が緩和された気温30度の真夏日の下、マスク着用で、各支部長及び自治会長、各種団体の皆様、本部役員の皆様、総員約200名の方に参加して頂きありがとうございました。各地区の通学路、バス通りの側溝、山田川右岸の草刈り等行っていただききれいになりました。11月には「クリーンシティぎふ」も計画しておりますのでよろしく



お願いいたします。 □■

配布
大洞 4-
54
東山 4-
53
北山 38-
342
コモ北 5-
88
桜台 23-
311
桜市 25-
136
5棟 4-
16
6棟 4-
25
9棟 4-
23
2P 1-
13
柏台 31-
301
柏市 19-
105
14棟 4-
22
15棟 4-
15
桐丘 23-
175
桐市 6-
28
紅葉 21-
238
紅市 16-
77
合計 236-
2022

子ども会 子ども達に楽しみの機会を

一芥見東子ども会育成者協議会・西脇 絹代さん
初めまして、この程芥見東子ども会の会長を務めさせて頂く事になりました西脇です。会長になって間もなく、コロナウイルスの影響で会議などが次々と中止になり、子ども会行事の一年生を迎える会なども中止となり、お子様方に淋しい思いをさせてしまい心苦しく思っております。

緊急事態宣言も出され、外出自粛が続いていましたが、少しずつコロナも解消に向かい解除が進んでいます。今まで通りの生活ができるのは、まだまだ先のような気がします。

今年は様々なイベントの中止が発表されていて、お子様方の楽しみが少なくなる事が多くなりますが、少しでも前向きに生活できるように私たちも活動したいと思っております。

なかなか大人数で集まることも難しいと思いますが、小さな楽しみをいくつか見つけて大きな楽しみに繋げていけたらいいなと思っております。

今年は、諦めの一年ではなく、じっくりと考える一年にしていきたいです。 □■



食中毒 食中毒予防のための3原則！

一芥見東自治会連合会・自治会だより編集部
梅雨に入り蒸し暑い日々が続いており、やがて梅雨から盛夏へ。食中毒が起こりやすいのは、これからの季節です。夏場は菌が繁殖しやすいだけでなく、身体の抵抗力・免疫力も落ち気味。食中毒を防ぐための3つの原則を、改めておさらいしておきましょう。

微量では問題のおこらない細菌やウイルス、有害物質なども、身体の免疫力・抵抗力を超えて侵入されると、下痢やおう吐などの症状がおこります。食中毒を予防するには、気をつけるべき「3つの原則」があります。



① つけない！

食中毒を起こさないためには、食中毒の原因となる細菌やウイルス、有害物質などを食品や調理器具につけないことが大切です。まず、手や調理器具を清潔に保つこと。そして菌のついた食品からほかの食品への二次感染を防ぐため、包丁やまな板は水で流して乾いたふきんで拭き、ふきんは頻繁に水洗いするようにしてください。



② 増やさない！

この時期は、屋外だけでなく、屋内も高温多湿になりがちです。食品は室温で置いておかず、冷蔵庫で管理するのがポイントです。とはいえ、冷蔵庫を過信しすぎるのも禁物。夏場は、冷蔵庫内の温度も上がりやすくなっています。冷蔵庫の扉の頻繁な開閉、食品の詰めこみ過ぎに注意しましょう。



③ 殺菌する！

梅雨時には、生ものをできるだけ控え、加熱したものを食べるようにしましょう。また、調理器具も熱湯消毒してから使用してください。なお、冷凍・冷蔵による殺菌効果は期待できません。保存した食品は早めに、再加熱して食べるようにしましょう。



そのほかには、肉・魚・野菜などの食材は別々に保存し、調理のさいには別々に洗う。臭いや傷みが気になる食品は口にしない、なども食中毒予防のための重要ポイントです。

暮らしの健康情報メディカルライフ教育出版より転載 □■

女性防火 地域の安全を守る活動を！

一芥見東女性防火クラブ・服部 美波さん
昨年度から、女性防火クラブの役員をさせていただいています。昨年度は女性防火クラブの活動を通して学ぶことの多い1年間でした。

女性防火クラブでは、防火意義の高揚を図り、火災の防止と安全で住みよいまちづくりを目的とした活動を行っています。防火訓練をはじめ、初期消火訓練や救命講習会等に参加し、防災に関する知識を得ることができました。

芥見東地区に住むようになって20年ほど経ちますが、仕事や子育てで忙しく、地域の活動にほとんど参加していませんでした。昨年度、地域の皆さんと触れ合う中で、地域の皆さんの安全は自分たちで守るという前向きさと、互いに支えあおうとする温かさを感じることができました。

私も芥見東の住民の一人として、また女性防火クラブの一員として、地域に貢献できる活動を目指して頑張りたいと思っています。

ご協力よろしくお願ひいたします。 □■

